

2026年7月22日

輸送動向について（2026年度第1-四半期）

1. 輸送概況

国内景気は、緩やかな回復が見られるものの、円安の進行や中東情勢の悪化に伴う原油価格高騰等により、物価指数は大きく上昇しており、個人消費は弱含みで推移している。当社においては、エコ関連物資や農産品・青果物等の減送により、本年の輸送実績は前年を下回った。

コンテナは、引き続きエコ関連物資が、中央新幹線建設工事に伴う発生土の減少により前年を下回ったほか、農産品・青果物は、前年に備蓄米の出荷があった影響により本年は減送となった。また、食料工業品は、清涼飲料水等の荷動きが振るわず、前年を下回った。コンテナ全体では前年比 92.3%となった。

車扱は、石灰石が、旺盛な出荷となったほか、セメントが、顧客の生産計画変更に伴う出荷量増加により前年を上回った。車扱全体では前年比 102.3%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比 94.9%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	1－四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	4,383	4,750	92.3%
車 扱	1,711	1,672	102.3%
合 計	6,094	6,423	94.9%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農 産 品・青果物	252	319	-66	79.1%
	化 学 工 業 品	387	387	-0	99.8%
	化 学 薬 品	265	268	-2	98.9%
	食 料 工 業 品	734	776	-41	94.6%
	紙 ・ パ ル プ	477	503	-25	95.0%
	他 工 業 品	298	301	-3	99.0%
	積 合 せ 貨 物	810	816	-5	99.3%
	自 動 車 部 品	204	190	14	107.5%
	家電・情報機器	86	90	-3	95.7%
	エコ関連物資	99	250	-151	39.7%
	そ の 他	766	847	-80	90.5%
コ ン テ ナ 計		4,383	4,750	-367	92.3%
車 扱	石 油	1,202	1,214	-12	99.0%
	セメント・石灰石	281	236	45	119.4%
	車 両	165	164	0	100.3%
	そ の 他	61	56	4	108.5%
	車 扱 計	1,711	1,672	38	102.3%
合 計		6,094	6,423	-328	94.9%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)